

平素より医療・介護関係者の皆様におかれましては、若松在宅医療・介護連携支援センター（以下、当センター）の事業にご協力いただき、心より感謝申し上げます。



【北九州医療・介護連携プロジェクトについて】

～市民を中心とした切れ目のない医療・介護の提供を目指して～



現在、北九州市が取り組んでいる『北九州医療・介護連携プロジェクト』は、「医療・介護連携ルール」「病院窓口ガイド」「とびうめ@きたきゅう」の3つの取り組みを柱に、医療・介護関係者の方が使いルールを守っていただくことにより、「切れ目のない医療・介護の提供のため、医療・介護等専門職が的確かつ効率的に連携できる環境」を整備することを目指しています。

「こうなったらもっと連携がスムーズになり患者・利用者さんにより適切な治療やケアを行えるのに」という医療・介護専門職の希望を実現するためにできたのがこのプロジェクトです。

プロジェクトには皆さんの協力が必要！

病院関係者のみなさん

搬送された患者さんを「とびうめ@きたきゅう」で検索・閲覧して下さい。

患者さんのケアマネ事業所が分かれば「3日以内に入院の一報」を入れて下さい。

患者さんに「とびうめ@きたきゅう」への登録を勧めして下さい。

ケアマネ事業所のみなさん

病院から「患者さんの入院の一報」が入ったら、病院へ情報提供をして下さい。

把握している在宅関係者と情報を共有して下さい。

利用者さんに「とびうめ@きたきゅう」への登録を勧めして下さい。

医療・介護関係者のみなさん

患者・利用者さんに「とびうめ@きたきゅう」への登録を勧めして下さい。

北九州医療・介護連携プロジェクトを使いルールを守る！



【とびうめ@きたきゅうの登録状況について】

R3年3月末 北九州市全体 約19228人 若松区内 約2596人（区内65歳以上の高齢者数26,585人）
搬送先の病院で活用されています！とびうめネットを検索された中で約1割の方が「とびうめ@きたきゅう」の登録者、まだまだ皆様のお力が必要です！コロナ禍ではありますができる範囲で構いません『大切な誰かのために🍀』登録申出書の声かけをよろしくお願い致します。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の終息時期の目途が立たない状況にあります。研修会や普及啓発活動は多くの方が安心して参加できるように形式等を柔軟に検討し、その時々状況に即した形で対応してまいります。また、コロナ禍にて医療・介護連携でお困りのこと等がございましたらご連絡ください。